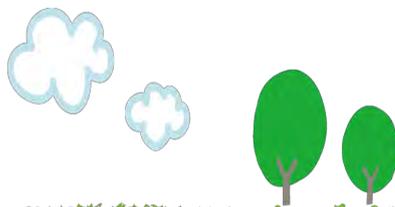


春・受け入れ
【発達領域】時間の理解
個性の発達



入園から1か月が経ちました。初めての場所、お家の人と離れた不安で泣いて抱っこを求める子が多くいました。

ですが、最近になり興味のあるおもちゃを手に取ったり、保育者が遊び方を見せると同じように自分でもやってみたりする姿がみられるようになりました。また、保育者やお友だちとの関わりも増え、喃語でやりとりをしたり、笑顔が見られる時間も増えました。

自分の遊びたい場所や落ち着く場所を探し、好きなおもちゃを選び、思い思いの過ごし方をしています。



保育者は子ども目線になり一緒に遊んだり、じっくり遊びに夢中になっているときはむやみに声をかけず、子どもと目が合った瞬間に声を掛けたり反応してコミュニケーションをとることを大切にしています。

毎日同じ人が同じやり方で子どものペースに合わせて丁寧に関わっていることで子どもたちが安心し、見通しをもって過ごすことができます。

遊 び



手で触れて感触を確かめたり、耳で音を聴いたり、どんな動きをしているのか目で追ってじっくり観察したり、一つの遊びに夢中になり何度も繰り返し遊んでいます。

気持ちを落ち着かせ安心感を得るために、こもれる空間や、安心BOXにすっぽり入って自分の空間・時間を楽しんでいます。



食事



たのしい～!



たくさん
たべるよ～!

見通しをもち、安心して食事に向かえるよう、いつも同じ席についています。

エプロンを取ると自分の席を覚え、目を向けたり自分で歩いて向かう子もいます。

ちゃんとした姿勢で食事ができるよう、足が届かない時は足置きを使用したり背中と椅子の間に空間があるときはクッションを入れています。

自分でできることは見守りながら、できたときには一緒に喜びを共有し、食事が楽しい時間となるよう、1対1で子どもとコミュニケーションをとりながら食事をしています。



おいしいね♪



自分で食べられるよ!



食事・睡眠・排泄の生活面はできる限り担当の保育者が援助しています。その関わりが愛着関係を築き、安心できる人や環境を認識・理解します。子どもたちの指差しや表情から伝えたいことをくみとり、言葉にして伝えるようにしています。伝わったときには、うんうん!と頷いたり、にっこりの笑顔が見られます。



お片づけも
できるよ!



睡眠

食事のあとは必ず布団へ向かいます。寝る場所もいつも同じにしていることで子どもたち自ら布団へ向かえるようになります。その子に合わせた関わりや寄り添い方をしています。

おやすみ～☆



スヤスヤ・・・

Happy Birthday

4月生まれのおともだち

